



触ノ淫物

ロフタツノミコ

触ノ淫物

イフタツノミコ

最近幻想郷で
頻発している
低級妖怪の大量発生

原因を
突き止めるべく
現地で合流した
早苗と一緒に
調査を始めたの
だけけど…

まったく…こいつら
キリがないわっ！

一体いつまで
戦えばいいん
ですかねえ…

無限湧きして
ませんか？



霊夢さん
ここは一旦
退いて…

くっ…こんな奴らに
敵前逃亡だなんて…

低級妖怪だという
油断があったの
かもしれない
私達の判断は
少しだけ遅かった…



何この煙…っ!?

頭がふらふらして…
それに体も…

だめっ…
こんな所で…

まんまと妖怪達の
術中に嵌ってしまった
私達は悪態しか残せず
その場で気を失ってしまった…

おにぎり
おにぎり
おにぎり

はまはま…

はっ

はっ

触ノ淫物

ハタツノミコ

このっ…離さない！
こんなことして
ただじゃおかないんだから！

触手に怪しげな煙を
吸わされた私達はどうか
離れ離れに捕まっ
てしまったようだった

ご丁寧の下着まで脱がした
この下衆な妖怪がすることは
容易に想像がつく

早苗は大丈夫だろうか
早苗とて覚悟をして
ここに来たのだ
ただではやられないだろう
そう信じるしか
今の私には出来なかった



ちよ…ちよっと！
どこ触ってるのよ！
この…そんな所広げるなあ！

覚悟はしていたが、
いざその時になると
焦りが生じてしまう

はあ…♡

アセ♡
アセ♡
しかし、ただでやられる
訳にはいかない
隙を突いてこのエロ妖怪を
消し炭にしてやるためにも
今は体の自由が戻るのを
待つしかないんだから…

くっ…ううう…
そんな所舐めるなあ！

股下から表れた筆状の触手は
ちろちろと割り開かれた性器を
撫で上げて分泌液を塗りこんでくる

塗りこまれた場所は
どんどんと熱を帯びていく。
それがろくでもないものだと
嫌でも理解させられるが
今の私には耐えることしか
出来ない。



ふっ…くううう…
絶対い…ああつ…
退治っ…して
やるんだからあ…

筆触手はどんどん
増えていき、
肛門の皺すらも
舐めほぐされていく。

粘液を付けられた
ひだがひくひくと震え、
クリトリスは快感を
心待ちするように
勃起しきっている。

そんな私の
弱点を触手は
見逃さなかった





んひいひいひい!?
あっ...ああああっ!
そこダメッ!吸わないでえ!

やめてっ!
離してえ!

ピンピンに勃起した
クリトリスを吸われ、
快感に腰が跳ねる。

そこはダメッ!
ダメなのお!

どれだけ懇願しても
離してくれない
はずはなく
責めはどんどんと
激しくなっていく

びんびん
くちゅ
びん

くちゅ
びん

んおおおおおおおっ!!
お尻っ…入っ…え…

筆触手は外側だけでは
飽きたらず
内側にも媚薬粘液を
塗り込んでくる

お尻のひだ
舐められてえ…

お尻熱い…

クリトリス
甘咬みされて
お尻ほじられて
気持よく
なるなんてえ…

こんな嘘…
嘘よお…





あああああつ！
だめえ！イクツ！
イツちやうう！

クリトリスも
おまんこもお尻も
全部イクううっ！

がし

がし
がし

がし

あおん

ふん

がし
がし

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

やあああああ…
わたし…おもらしして…
おしっこ止まらないい…

やだあ…見るな…
見ないで…

止めようにも、
快感に震える腰に
力が入らず、無常にも
妖怪の前で放尿を
披露する羽目にな
ってしまった

私…触手にイカされて…
おもらしまで…
こんなの恥ずかしすぎる…



触ノ淫物

ハタツノミヨ

うう…
気持ち悪い…
寄らないで…

なんですか
この気持ち悪いの…

しかもこの
ドロドロの液体…
さっきの煙と同じ
変な匂いが…



ひゃあつ!

やだっ!?!
私の下着
なくなっ...!

そっ...それよりっ
そんな所舐めないでえ!

うねうねしたのが
おまんこにつ...
気持ち悪いっ!



キヤツ!?
熱っ...!?

ひゅぽっ♡

んっ♡

くさい
ねばねばが
顔にもお...
髪にもお...

ひどい...
匂いが取れなく
なっちゃうよお...

んっ♡

ニムル...

んっ♡

んっ♡

んっ♡

ニムル...

んっ♡

んっ♡

んっ♡



えっ…なんで…
触れた所…
熱い…

体の奥から
じんじん熱くなって…

熱いだけ
じやない…
体もむずついて…

だっ…だめ…
気をしっかり持って…





いいいいっつ!?

おっ...
おまんこにっ!
入ってきてる!

女の子の
大切な所に...
こんな気色悪い
触手があっ!



やめっ…
はひいっ!?

おっ!
お腹の中にも
熱いのがあつ!

あま〜ん

やめてえっ! お腹っ…
火傷しそうに熱い!

ぐんぐん

ぐんぐん

がら

がら

がら

がら

がら

ジュルル

触ノ淫物

イフタツノミコ

…今度は何を
するつもりかしら？

ニャル…
言っておくけどあんた達には
私の受けた屈辱の何倍も
痛い目をみさせてあげるんだから

それが嫌なら
こんなことやめてさっさと
退治されなさい

虚勢を張ってみたものの
さっきの責めに
私もおまんことお尻は
まだひくひくと震えている

ニャル…
まだ熱いの収まらない…
今こんなの入れられたら
私また…

あああああつ！
やめっ：ほんとにつ
許さないんだからっ
やめなさいい：

こんなの嫌なのに：
お尻もおまんこも勝手に
ひくひくして：

そんな虚勢に
耳も貸さず、触手は
両穴をほじりだす

生暖かいぬるぬるの
触手でナカを擦られるの：
気持ちよくなってる自分が
恥ずかしい：

がっ

がっ

がっ

がっ

がっ

がっ

がっ



ひっ：
イヤあああああ！！
なによこれ！外してっ！
外しなさいよお！

私の中に入っていた
触手がちぎれて
ナカを見せつけるように
固定をってしまった

やだっ：見られてる：
触手入れられて
とろとろにされたお尻も
おまんこも：
こんなの恥ずかしすぎる：

しかし両腕を固定された私には
固定具を外すことは出来ず、
出来る事は自分の惨めさに
顔を背けるだけだった

ぽお...

おっ…ほおおおおおっ…
何っ…入れてえ…

触手の粘液が入って…
しかも入れられる度に体が…
どんどん熱くなっ
てえ…

透明触手から
先ほどの媚薬粘液が
どくどくと私の体の
中に注がれていく

おまんことお尻の切ないの…
全身に回ってくる
みたいにあつい…



いっぎい…も、もう入らない…
止めて…入れないでえ…

粘液でお腹…苦しっ…
これ以上入れられたら…
お腹破裂するっ…

乳首も勃ってきて…
全身がむず痒い…

苦しいのに…気持ちいい…
体がおかしくなってる…



はああつ…
やつと…抜け…

…!
きやあああああつ!
漏れるっ!もれちゃうう!

がが
お腹の粘液が逆流して…
このままじゃお腹の中
全部…

お願いっ!トイレ!
トイレに行かせてえ!

あつあつ

ゴホホ
トホ
ゴホホ
トホ

トロ...



んぎいいいいっ!

決壊寸前の肉穴に
ふたたび触手が
割り込んでくる

おっ…ながっ…
ぐるじ…
やめ…でえ…

溢れかけていた
粘液が肉穴の中で
かき混ぜられていく

おっ…えええ…
お腹の粘液…
押し返されてる…
漏れないけど…これじゃ
もつと苦しく…



んごおおおおお!

おながっ!がぎまわっ...!!
ざないでえっ!

ガク

ガク
ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

おかしいっ...苦しいのにつ...
体の端まで熱くなって
痛気持ちいので私感じてるう!
お腹ぐるぐるさせられて
イクラウウ!

ボ
チ
ツ

ボ
チ
ツ

ボ
チ
ツ

ガク

ガク

ガク



触ノ淫物

イフタツノミコ

いやあああつ！
離してっ！
離して下さい！

触手の拘束が緩んだ隙に
必死に逃げたけれど、
追手の触手を振り切る
ことが出来ず、また恥ずかしい
格好で押さえつけられて
しまいました…

触手に犯される
なんてイヤですっ！

神奈子様っ！
諏訪子様っ！
助けてえ！

にゅんっ

にゅんっ

にゅんっ

にゅんっ

にゅんっ

にゅんっ

にゅんっ

にゅんっ





もう逃げたり
しませんから…

い、痛いのはイヤ…
お願い許して下さい…

何ですかこれ…
ちゅ、注射…?

つんつん-

つん

つん

つん

ちゅちゅ

ちゅちゅ



なにこれ！
刺された所から
熱いのが広がって…

乳首が…
焼けるように
熱い…

もしかして毒…？

ちゅ…

びしょ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ

ちゅ

びしょ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

びしょ



もしかして…この液体が…?

どうして母乳が…私、赤ちゃんなんて…

はあああああっ♡♡

♡ガッ♡

♡ガッ♡

♡ガッ♡

♡ガッ♡

♡ガッ♡

♡びっ♡

♡びっ♡

♡びっ♡

♡びっ♡

♡びっ♡



あ...あああ...
いや...挿れないで...
そんなの入れない...

こんなゴツゴツなの
入れる気なの...?
無理...無理だよお...

に逃げ...

ガッ♡

ガッ♡

♡ガッ♡

ニユ

ル...

ガッ♡

ガッ♡

ガッ♡

♡ガッ♡



嘘…私のおまんこだ…
入って…

びしょびしょ!!

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

びしょ

ガク

びしょ



中に出さ
ないでっ!

抜いてっ!
抜いてくださーい!

こんなの
やだああっ!

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ズッ

ズッ

ガク

ガク

ガク

ズッ

ズッ

触ノ淫物

ハタツノミコ

う...う...この...
あっち行きなさいよお...

体が固定されて
動けない...

しかもコイツ...さっきから
私の口を狙って...

こんなのが入って
くるだけで吐き気が...

ふっ、ふっ、
ふっ、ふっ、

と!

うに...

うた...
うた...

むに...
むに...





んむっ!!
んむっ!!

口に触手が
張り付いてえ...

ぷっ..

ぷっ

うう...臭い...
気持ち悪い...
でも我慢しないと...
こんなのに口を
犯されるなんていやあ...

ぷっ

ぷっ

ぷっ...

ぐにゅ
ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ
ぐにゅ

ぷっ

ぷっ



ングウツ!?

おまんことお尻に…
また触手があ…

しかもこれ…お腹の中…
丸いのがゴロゴロして…
ま、まさか…これって…

いやあ!
卵産み付け
られるのなんて…

アッ
アッ
アッ

が
が

が
が

グ
グ

グ
グ

グ
グ

が
が

が
が

ダッ…
んぶううううっ!?

私の口が緩むのを
触手は見逃さなかった

目一杯触手を
頬張らされた口は
極太触手の形にそって
いやらしく
歪まされてしまう

触手の臭気が
喉奥まで広がって
目を白黒させている
間にも卵はどんどんと
私の体の中に入ってくる…



ふぐっ…
んおおおお…

急いでお腹の中の
卵を出さないと…

卵をひとしきり
産み付けられた
私のお腹はまるで
妊婦のように大きく
膨れ上がってしまった

もしお腹の中で
孵ってしまったら…
そう考えただけで
背筋が凍る…

ブルブル

ブル

ボコォ…





ふんっ!
ううっ!

恥も外聞もなく私は
必死になって力んだ

それに合わせて両穴から
ぷりぷりと触手の卵が
顔を覗かせてくる

この調子…
このまま全部出せば…

ブルブル…

ブルブル

ブルブル…

ブルブル

そんな淡い期待は
たった二本の触手によって
打ち砕かれてしまった

触手が…卵を
押し返してろう！

せっかく産みつけた卵を
無駄にしまいと
触手達はグイグイと
卵を私の中に戻そうと試みる

邪魔しないで！
このままじゃ
私のお腹で卵が…

グイッ

グイ
グイッ!!

ガク
ガク

んもかかおあ!?

ガク

ガク





んぶうーっ！

カづくで押し返された卵は腔内と直腸を割り開いて元の場所へと戻っていく

嫌っ！
それだけは絶対に嫌あ！

このままじゃ... 私本当にお腹の中で卵を...

ガク ガク

んぐっ

うぐっ
うぐっ
うぐっ

ガク

ズン
ズン
ズン

ガク
ガク

ガク
ガク

ガク
ガク

んぽっ♡♡♡♡
ほおっ♡♡♡♡
んぽおおっ♡

卵が出てこないよう
削岩機のような勢いで
触手達は二穴を念入りに
ほじくり返す

それに合わせて
口内の触手も口の粘膜に
淫液を擦り込むように
動く出した

ガク
ガク
なんでっ…
こんな乱暴に
されてるのにつ…

触手に擦られる所…
全部気持ちいい…



触ノ淫物

イフタツノミコ

ひとしきり犯され
脱力しきった私の体をは
触手の天井に固定された

やだあ！
こんなのイヤです！
降りして下さい！！

胸もおまんこも
見られてる…
恥ずかしい…

しかも股には
男の人のあれ…
みたいな触手まで…

こんな情けない
格好させるなんて
ひどい…

うニ…

うニ

うニ…

うニ…

うニ…

うニ

ひゃあっ!?

天井の触手が
男性器触手を
しごきだす

それに合わせて
私の体がひくひくと
震えだした

ど、どうして...?
ただ張り付いて
いるだけなのに...

まるで自分の体みたい
に擦られた所がむずむずして...



でっ、出るっ！
なにか出ちゃううう！

男性器触手が
粘液を吹き出すと
同時に私の体に
快感が駆け巡る

う、うそ...
まさか本当に
触手とつながって...?

信じたくなかったが、
びゆるびゆると吹き出す
白濁液に合わせて
ビクつく体が真実を
はつきりと表していた



すると突然体が
ガクンと揺れる

びびり...
ががが...

ひっ...やだ...
拘束が...

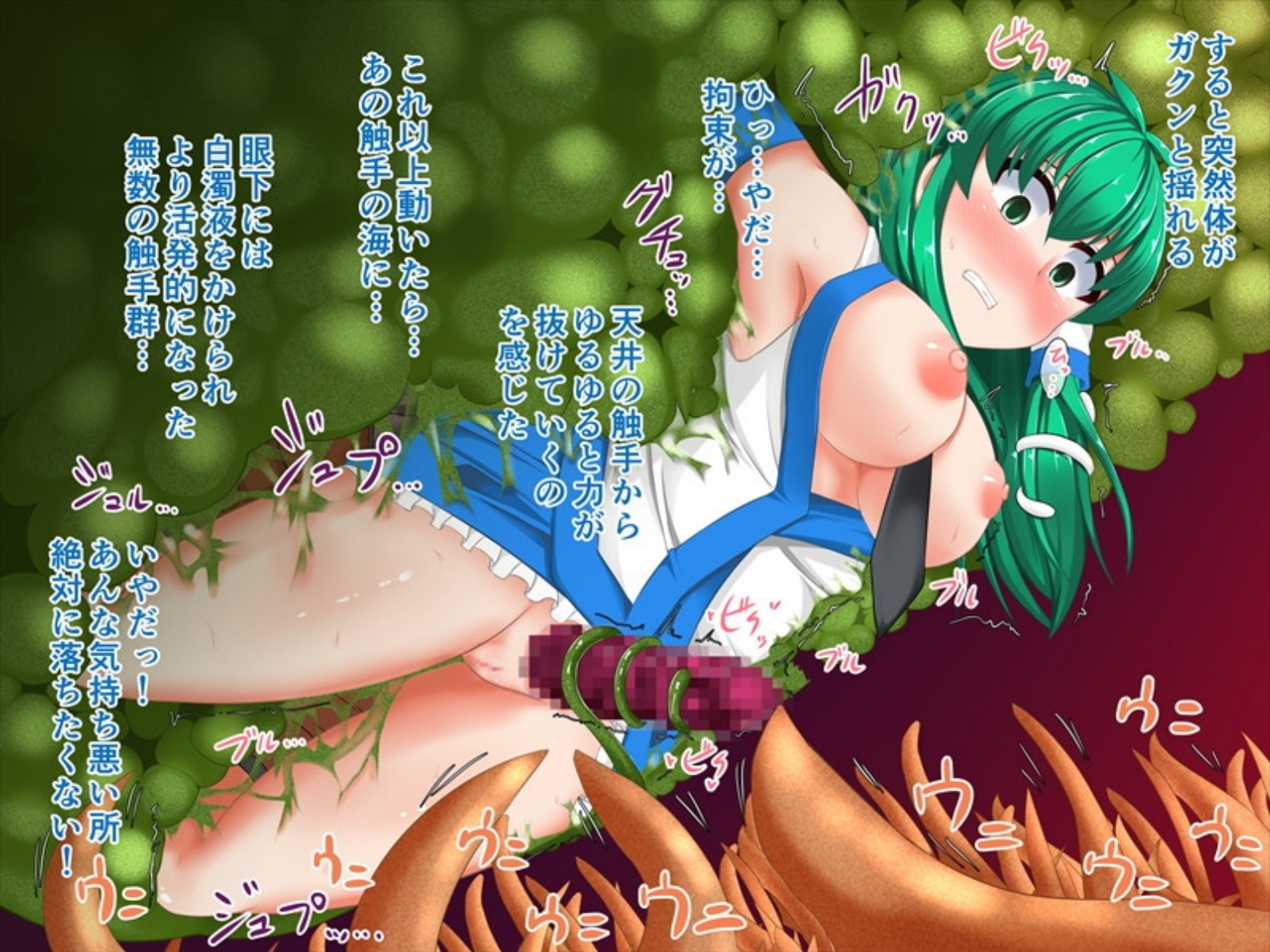
グチャ...

天井の触手から
ゆるゆると力が
抜けていくの
を感じた

これ以上動いたら...
あの触手の海に...

眼下には
白濁液をかけられ
より活発的になった
無数の触手群...

いやだっ!
あんな気持ち悪い所
絶対に落ちたくない!





宙吊り責めによって濡れた膣内はすんなりと触手を受け入れた

膣内の快感に合わせて乳首と男性器がピクピクと反応する

ほおおおっ♡ダメえっ♡
今おまんこ入れたらあ♡

ダメえっ♡
今イッたら落ちるっ♡
イツちゃだめなのっ♡

ちくびとおちんぼ
シヨられてっ♡
おまんこもなんてっ♡
イクッ♡イカされるっ♡

びく♡

びく♡

びん♡

が♡

が♡

が♡

が♡

が♡

が♡

が♡

ポ♡

ポ♡

ポ♡

ポ♡

ポ♡

ポ♡

ポ♡

ポ♡

ポ♡

ふおおおおおおおっ♡♡♡
イクッ♡またイッてるう♡

この気持ちいいのダメえっ♡
何も考えられなく
なっちゃうのお♡♡

快感を叩きこまれた
私の体反り返りながら
痙攣を繰り返す

そして：
それを支えるほどの
力は天井の触手には
残っていないかった！



触ノ淫物

イフタツノミコ

どれくらい
時間が経った
のだろう

あれから幾度と
無く犯され私のお腹は
臨月寸前となっていた

卵を育てて産む
『モノ』である私は
股を開け広げた
なんとも下品な格好で
拘束され

絶望と恐怖に身を震わせながら
産卵という役目を終える
その時を待ち続けていた



悪魔の声の
ような音が
体内から響き渡る

いいいや…
産みたくない…

お願い…許して…
見逃してあげる…
もう退治しないから…

しかしどれだけ
許しを請うても
出産の時間が
近づいているのは
私の体が一番知っていて…

ぐらぐら…

ゴボゴボ…

がら

がら

がら

がら

ひいひいひいっ!
イヤッ! いやああっ!

怖いつ!
赤ちゃん産むの
怖いよおっ!

お腹の中が
触手の子供で
脈動し破水が始まる

妖怪を産むなんて
ダメえ!
助けてさなええ!





んおおおおおおお♡♡♡

産まれたっ♡
産まれてるう♡

まんことお尻から
ぷりぷり触手
産んじやってるうう♡

出産アクメ
来るうううっ♡♡♡

産道と直腸を
触手が通る度、
今まで体験したこと
ないような快感が
全身を支配する

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ

ビュッ♡
ビュッ♡
ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

んぎいいいいっ♡♡♡
詰まってるっ♡
お腹で触手詰まってるっ♡

おえっ♡オオツ♡
暴れっ♡ないでえ♡
お腹破裂するっ♡♡

我先にと
出でくる触手が
奥で詰まり産道を
無理やり押し広げる

しかも恐ろしいことに
その痛みすら調教された
私の体は快楽に変えてしまう



んほおおお
おおおつつ
♡♡♡

ちくびっ♡クリい♡
吸わないでええ♡♡♡

出産の遅い私を
叱咤するように
生まれた
ばかりの触手が
私の突起を
しゃぶりあげる

ダメええっ♡♡♡
キモチイイので
人間に戻れなく
なっちゃうううう♡

産まれるっ♡♡♡
また出るううっ♡





しりやないっ♡♡♡
こんな気持ちいいのっ♡
もどれにやいっ♡

ふふふっ♡
いらっ♡

出たっ♡♡♡
一気に出たあっ♡♡♡

同時出産アクメ
しゅごいひいっ♡♡♡

ハハハ

グセ

グセ



あつ...♡
あはあ...♡

はくれないのみこにやのに...
ようかいぷりぷりうんれ...

きもちよく
なっちゃったあああ...

もうもどりえない...

が♡

おんやええ...

が♡

はく

が♡

が♡

が♡
が♡

が♡

ん

ん

ん

触ノ淫物

ハタツノミコ

いやあああああああつ！
出してっ！離してっ！
誰か助けてえええっ！

天井から落ちた先には
芋虫のような細い触手が
ひしめくように蠢いていた

気持ち悪い気持ち悪い
気持ち悪い気持ち悪い！

芋虫に全身を
這い回られる感覚に
半狂乱になりながら
助けを呼ぶが
その声は誰にも届かない




~~~~~っ!!

しかし、どれだけ脳が  
拒絶反応を起こそうとも  
淫液に濡れた体は  
快楽を享受した

体を登ってきた触手の  
軌跡が淫液で  
てらてらと光る  
たったそれだけで  
私の体には快楽が走る

こんな気持ち悪い  
もので私感じて…





しかしそれはまだ  
本当の絶望の  
始まりに過ぎなかった

ぎいーいーいっ!?

嘘嘘嘘嘘お!  
乳首に触手が  
入ってえ!

違うのっ!  
そこは入らないっ!  
壊れるっ!  
乳首壊さないでえ!





触手達は乳首だけでなく  
男性器にも群がりだす  
ほじくり返される度に  
私の体には熱い快楽が  
流れ出してくる

なんで…  
痛くないの…  
むしろ気持ちいい…

乳首だけじゃない…  
私の体が壊されてる…

人間じゃなく  
なっちやううっ!





ほごっ!!  
ふごごおっ!!

興奮した触手達は  
穴なら何でもいいと  
言わんばかりに  
ついに鼻の穴にまで  
群がりだす

なんでえっ!!  
鼻の穴ほじられるのも  
気持ちいいよおっ!

怖いっ:  
私が私じゃ  
なくなっちゃおう...

全身が触手の  
「モノ」になってるう!













ほっ♡♡  
ほおおっ♡

キモチイイっ…♡♡

気持ちいいの  
しゅごひい…♡

こんなの  
忘れらん  
なひよお…♡♡

非人間的な快楽は  
私の心すらも  
触手の『モノ』へと  
墮とってしまった…





触ノ淫物

ハタツノミコ



ふっ…ふう…  
早苗平気…？

霊夢さんも…  
大丈夫ですか？

四肢を拘束されて  
いるとはいえど  
信頼する友とい  
うことが  
二人の折れた心を  
修復していく

再会は随分と  
早くに叶った

こんな所さつさと  
抜け出しましょう！

ええ、きつと  
目にももの  
見せてやるわ







こ、これって…  
あの時の…

この触手の恐ろしさを  
知っている早苗は  
絶望の表情を浮かべ、

しかしそんな  
反抗心を見逃すほど  
触手達も愚かではない

な…なによ!!  
近づくなっ!!

霊夢もただならぬ  
雰囲気飲まれそうに  
なり、語気が強まる

私達にこれ以上  
妙なことしたら…

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

あ…

あ…

キッ!!

ふふ

ふふ

が

が









ひいつ...  
くうう...  
♡♡

クリ...  
パンパンに  
張ってえ...  
♡

乳首い...  
乳首熱いよお...  
で、出ちゃうう...  
♡♡

がく

がく

あぁ

あぁ

がく

お願い...  
それだけは...  
♡

ブル  
今触られたら  
絶対にマズい  
ブル  
♡

ブル  
ブル

芽生えた  
二人の反抗心が  
ゆっくりと  
崩れ出す...

がく

あぁ

あぁ



だが責めは一向に始まらない

どうして…  
今までなら  
気が狂うほど  
犯してきたのに…

触られないままだと…  
今度は逆に切なく…

責めの恐怖に  
強ばっていた体が  
快楽に飲まれていく

二人は体を  
揺すって快楽を  
逃がそうとするが…

しかしどれだけ  
耐えていても  
触手達はびくりとも  
動こうとしなかった







そんな二人の牙が  
削がれるのに長く時間は  
かからなかった

ふぐううううっ  
クリトリス  
つらいいい♡

なんでっ♡  
なんでクリ♡  
犯さないのよお♡♡

お願いいい♡♡  
乳首弄らせてえ♡♡

乳首っ♡シコシコ  
して下さい♡♡♡

犯してっ♡♡  
このままじゃあ  
狂っちゃううう♡♡

わくわく♡

ははは♡

わくわく♡

ははは♡

ははは♡

ははは♡









もうこんなこと  
ひまひえんっ ♡ ♡

だからもっともっと  
きもひいいこと  
してええっ ♡ ♡

妖怪退治なんてして  
しゅいまひえんでしたあ ♡ ♡

ごめん  
なひやいつ ♡ ♡





一気に奥  
までへええっ

そんな  
突然んっっ

おほおほ  
おほおほ

突然の暴力的な快感に  
二人は目を白黒させる

脳内を快感に  
犯された二人は  
次なる触手に  
気がつけなかった







触ノ淫物

イフタツノミコ



数時間にわたる  
快楽責めから  
開放された三人は  
先ほどとは別の場所で  
肉壁に体を埋められた  
四肢を固定されていた。

産卵のための  
『道具』である二人は  
錯乱、逃走によって  
その機能を失うことが  
無いように丁寧に  
保管されている



ああ…♡  
イきたい…♡  
オナニーしたい…♡

全身がクリトリス  
みたいになつて熱くなつて…♡

がく♡

がく♡

がく♡

がく♡

がく♡

がく♡

がく♡

がく♡

がく♡

がく♡

淫靡な瘴気の  
立ち込める中  
自らを慰める  
ことも出来ず  
ただひたすら  
種付けの時を待つ

この地獄のような  
快樂拷問は  
二人の脳内から  
思考能力を奪い、  
隷属感を育てるには  
十分すぎた



来たっ♡  
ご主人様の  
触手来たあ♡

うれしいい…♡  
おまんこいじって  
もらえる…っ♡♡  
どきどき♡

調教されきった  
二人にとって、  
何よりの楽しみは  
一部の触手による膈内の  
メンテナンスだった

待望の快楽への期待に  
二人の上下の口が  
体液で溢れかえる





んほおおっ♡♡♡  
来たあああっ♡♡

がが♡

がが♡

一気におまんこ  
しゅごいひいっ♡♡

がが♡

んおおっ♡♡♡  
おおっ♡♡

あああっ♡♡♡  
早苗ずるいっ♡♡

ほおっ♡  
おおっ♡

がが!!

ご主人様っ♡  
私もおまんこっ♡  
おまんこ下さいっ♡

がが!!

がが♡

じゅっ♡  
30いん♡





ほへえええええつ♡  
私にも来たああつ♡

ご主人様が  
私の子宮に  
キスしてるう♡♡

がらん♡

おおおおお♡

おあつ♡

ほおお♡

はあああつ♡  
霊夢さんの締め付けつ♡  
ご主人様を通して  
つたわってえつ♡

がらん♡

早苗のおまんこ  
しゅごひいつ♡

ズボオ♡

ズっ♡

ズっ♡

ズっ♡

ズっ♡

じゃぶ♡

じゃぶ♡





二人の膣内の様子が  
触手を通してお互いに  
伝わり、膣内の感度が  
調節されていく...

すごひいつ♡  
おまんこズンズン♡  
割り開かれてえ♡

幸せ♡  
おまんこ  
幸せですっ♡

こんなイクっ♡  
すぐイッちゃうう♡









はっ♡あああ…♡  
おしっこ気持ちいい…♡

きひいいっ…♡♡  
早苗のおしっこ  
クリトリスに  
当たってえ♡

おしっこ  
引っ掛けられて  
またイクううっ♡♡

小便にすら  
快楽を感じながら  
二人は次の触手に  
心を弾ませていた

うよ333…♡





触ノ淫物

ハタツノミコ



博麗靈夢と  
東風谷早苗が  
行方不明になり  
数ヶ月の後…

おまんこ準備  
万端ですう…

早くっ  
種付け  
早くう

ご主人様の  
種付けチンポ  
下さいい

そこには調教を  
終え、はしたなく  
秘裂を濡らす  
二つの種付け  
便器があった







くひいらいつ♡  
ちっ♡乳首いつ♡

もうミルク  
出ちゃふうう♡

クリチンポ  
しゅごひっ♡

がら♡

がら♡

雌イキっ♡雌イキ  
とまんないひい♡

がら♡

ニイイッ!!

ニイイッ!!

がら♡

がら♡

がら♡

びゅっ♡

びゅっ♡

びゅっ♡

がら♡

がら♡

がら♡

がら♡

がら♡

がら♡

がら♡

がら♡

がら♡





でも  
だめへえ…♡

勃起乳首  
だけじゃダメえ…♡

メスチンポ  
だけじゃだっ♡

がら♡

とろとろ調教  
メス穴うずいて  
辛いほおおっ♡

がら♡



触手達はその声に  
耳を貸すように  
近づいてくる

あああっ  
それっ  
それですっ

極太触手  
ちんぽっ

挿入れてっ  
早く早くっ

がら

おまんこ  
グチャグチャに  
かき回してえ

ズルッ

ユル...

ユル...







ぎらいいっ  
すいまへんっ

ごめんなひやい  
いいなおひますう

乳牛便器の  
東風谷早苗とお

クリチンポ狂いの  
博麗霊夢のお

はしたない  
メスマンコに  
触手様のチンポで  
お情けを下さい













オオツ ♡

ホオオツ ♡ ♡

ホヒイイツ ♡

イグイグ  
イグウツ ♡ ♡ ♡

から ♡

から ♡

ドッ ♡

グポニツ ♡

グポニツ ♡

ドッ ♡

ホッコニツ ♡

ボッコニツ ♡

ドッ ♡

から ♡





あああっ♡♡♡  
もっ♡と…♡  
もっ♡と下さ♡い♡

ご主人様の子供…♡  
いっ♡ぱい♡  
産み♡ます♡から♡あ…♡♡

幸せの絶頂にいる  
二人の巫女が  
幻想郷に  
帰ってくることは  
二度と無かった…

ゴホッ♡

ゴホッ♡

ゴホッ♡

ゴホッ♡

ゴホッ♡

ゴホッ♡

ゴホッ♡